

研究課題名	PARP 阻害薬投与に伴う偽性腎機能障害の発生状況調査と鑑別法の探索
研究期間	2026年6月2日～2027年3月31日
研究の対象	2018年1月1日～2026年3月31日の間に当院においてオラパリブまたはニラパリブの投与が開始されたがん患者さん
研究の目的・方法	<p>研究目的：がんの治療薬である「オラパリブ」や「ニラパリブ」を使用すると、腎臓そのものは悪くはないのに、血液検査の数値（クレアチニン）が「見かけ上」悪く出てしまう可能性があります。この「見かけ上の数値の悪化」を、本当の腎臓の悪化と区別することはとても重要です。なぜなら、数値が悪いからといって、お薬の量を減らしたり、お休みしたりしてしまうと、本来期待できるはずの「お薬の十分な効果」が得られなくなってしまう可能性があるからです。そこで本研究では、過去の患者さんの血液検査の数値がどのように変化したか、また、その数値の変化によってお薬の量がどのように調整されたかを調査します。より安全で効果的な治療を続けられるようにするための、よりよい判断指標を探索することが目的です。</p> <p>研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータを解析します。</p>
研究に用いる試料・情報の種類	<p>情報：診療科、入院病棟、患者プロフィール（性別、身長、体重、体表面積、年齢）、既往歴、現病歴・治療歴、合併症（高血圧、糖尿病等）、薬歴、（併用薬情報：OCT2/MATE 基質薬または阻害薬、NSAIDs、利尿薬、CYP3A4 阻害薬/誘導薬等）、アレルギー・副作用歴、薬剤投与状況・投与日数、薬剤師の介入内容、患者転帰、各種検査結果（CT、X線撮影、MRI、エコー、心電図等）、血液検査結果、尿検査結果等</p> <p>情報の管理責任者：広島大学病院薬剤部 教授 松尾裕彰</p>
利用または提供を開始する予定日	2026年6月2日（当院における実施許可日）
個人情報の保護	得られた情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。

研究組織	当院の研究責任者 広島大学病院薬剤部 教授 松尾 裕彰
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院薬剤部 担当者：滝沢大吾 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5579</p>